

熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和3年(2021年)11月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

2021 12 月号 通算199号

熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

「友達の輪～Relayトーク 第14弾」 医師会病院での良き思い出……………	P 1
熊本地域医療センター 手術オープンシステムを利用して……………	P 2
新任挨拶……………	P 2～3
昇任挨拶……………	P 4

「友達の輪～Relayトーク 第14弾」 医師会病院での良き思い出

しょうの まこと
庄野循環器科内科医院 庄野 信



末藤久和先生よりご紹介いただきました健軍4丁目にて開業しております庄野

信と申します。10月号にて末藤先生が紹介されています通り先生とは、東2部会にてご一緒させて頂いています。これ以前に国立熊本病院（現在の国立病院機構熊本医療センター）にて心臓カテーテルにおける検査から治療に至るまでご教授いただいた先輩であり師匠でもあります。また、年末の医師会忘年会に於いても敏腕プロデューサーをされています。今回、Relay Talkの原稿の依頼に際してもお電話を頂き㊥「いいですね。」㊦「承知いたしました。」と2つ返事にてお受けした次第でした。

さて、私の医師会病院での良き思い出ですが、自身の研修医2年目の10月から翌年の3月までの半年間内科を中心に研修させて頂きました。半年間という短い時間ではありましたが、内容の濃い非常に有意義な時間でありました。当時は相良勝郎副院長の直接指導の下、消化器内科の尾田恭先生、清住雄昭先生、循環器は大串正道先生、呼吸器は千場博先生、瀬戸貴司先生、麻酔科 田上正先生、古閑匡先生、脳神経外科 伊東山洋一先生、外科は八木泰志先生、村本一浩先生、その他、記載できないくらい多くの先生方にご指導して頂いておりました。当

時は当然の如く働き方改革などもなく、どれだけでも働き、どれだけでも勉強ができるいい環境でした。上記の先生方のご指導にて毎週1回朝の8時から内科を中心に勉強会を開いて頂き、各回、研修医や指導医が担当、その分野の基本的内容やトピックに至るまで救急対応を中心に勉強会を行って頂きました。最終的にこれら約3年間の資料をまとめ内科実践マニュアルと題し尾田恭先生よりマニュアル本として頂きました。当時の私達にとっては大変ありがたく、その後の救急対応時に重宝いたしました。研修中に担当した症例を内科学会地方会にて伊藤清治先生と発表をさせて頂いたのもいい経験です。

楽しい思い出も沢山ありました。準夜が終わるのを待って、若手の看護師さん達と歩いて橋を渡り、街に行き食事をしていました。当時の看護師さん方はよく食べられていたのを覚えています。忘年会では血液内科の立津央先生と2人にてデュオの出し物をしました。冬の大山へのスキーツアーも風邪をひきましたが、良い思い出です。

その後も医師会病院では夜間当直時に常勤の先生方には迅速な対応にて大変お世話になっており感謝しております。

最後に次回のRelay Talkの紹介です。東2部会にて忘年会の芸の出し物を御一緒させて頂いたり、部会の旅行を楽しんだ健軍桜木眼科の岩尾圭一郎先生です。先生には私の眼科の主治医もして頂いているので、依頼させて頂きました。

熊本地域医療センター 手術オープンシステムを利用して

あきづき みわ
みわクリニック 秋月 美和

熊本市中央区帯山に乳腺専門外来のクリニックを開業して、今年で15年目を迎えました。開院初年度38例（5月-12月）だった乳癌診断症例数は、現在年平均80例になりました。手術は公的病院に紹介していましたが、やはり自ら診断した患者さんの癌が術前の画像結果と比較してどのような状態なのか、転帰はどうなっているのか、気になるものです。病院によっては紹介しても返事がないうまま、数年後に本人や家族、友人が久しぶりに受診された際に現状を知る…ということも少なくありません。また、紹介した患者の多くは戻してもらえず、診断までの検査内容ではかえって赤字になってしまうこともあり、当院のような小さなクリニックでは経営的にも問題となっていました。

そのような葛藤を抱きつつ月日が経ち日常診療にも少しずつ余裕が出てきた頃、事情があって他院に紹介しづらい症例に当たりました。さてどうしたものだろう？と思い悩んでいた所、外科の大先輩である戸山先生や森永先生が熊本地域医療センターで手術をされていることを聞き、「自院で診察した患者さんを、外科、麻酔科のバックアップのもと、会員が執刀して手術を行える」というシステムを知りました。手順も大変ではなく、開放型病院共同指導と同様、連携室に連絡すると手筈を整えてくれます。検査日や手術日も可能な限り融通を利かせてもらえます。当時は外科の田中洋先生がこのシステムの担当をされており、現在の岡部弘尚先生に至るまでずっと細やかな気遣いをしていただき、安全で快適に手術を行っています。2013年11月から地域医療センターでの手術を開始し、今年11月に200件を越えました。

私はいつも木曜日の午前を利用していただいておりますが、午後はひぐち小児科・小児外科の樋口章浩先生が20年近く前から手術をされています。ここ数年は私達2人が常連で、時々他の会員の先生のお名前を予定表でお見掛けするとうれしい気持ちになります。以前樋口先生もセンターだよりに書かれていましたが、このシステムを利用して手術を執刀することで、主治医が変わらず安心して治療を受けられるといった患者さんの満足度も得られますし、日々孤独に診療している開業医側にとっても、病院医療に参加する機会が増えることで常勤医やスタッフと交流を持ち、新しい知見に刺激を受けたり自己研鑽を積む意欲が湧きます。術前検査に問題があれば麻酔科や内科の先生方と相談しながら進められますし、術後管理も慣れた外科の先生方に対処していただき、良いことばかりです。手術場のスタッフも大変勉強家で、いろいろな専門科に対応は可能だと思います。まだ利用されていない先生方でご興味があれば、ぜひ活用されることをお勧めいたします！

最後になりましたがこの場をお借りして、杉田院長をはじめいつもお世話になっております地域医療センターの先生方、事務の方々、そして手厚く温かい看護を実践してくださっているスタッフの皆様へ、心より感謝申し上げます。



新任挨拶



小児科

なす のぞみ
那須 望美

本年10月より小児科に赴任しました那須望美と申します。子どもが好きで総合的に診れる小児科医になりたいと思い、現在卒後6年目です。これまで

では、熊本大学病院、福田病院、都城医療センター、熊本赤十字病院、熊本市市民病院で勤務させていただきました。

当院は熊本の小児救急医療の初期治療および2次救急の中心的役割を担っている病院です。辛い中受

診してくれるお子さんの訴えを見逃さないように、少しでも元気になれるように、熊本の小児救急医療に貢献できればと思います。辛そうな我が子をみてこのまま夜を過ごしていいのかな？と親御さんは不安な思いで来られます。お子さんが元気になるのはもちろんですが、親御さんの気持ちに寄り添えるような診療を心がけたいと思います。また、当院は多数のお子さんのアレルギー診療を行っています。食物アレルギーや喘息などで困っているお子さんが、楽しく家庭・学校生活を送れるようにアレルギー診療の勉強を頑張りたいと思っています。至らぬ点多いと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



小児科

すぎの 杉野 よしひこ 嘉彦

本年10月より小児科に赴任しました、杉野嘉彦と申します。熊本市出身ですが、大学は久留米大学を卒業し、熊本大学病院および北九州総合病院で研修を行いました。熊本大学病院小児科入局後は

熊本赤十字病院、天草地域医療センター、熊本市市民病院 NICU、熊本大学病院で勤務してまいりました。本院は出動協力医の先生方のご協力による熊本方式の救急外来や、ご紹介の患者様の診療、アレルギー診療など幅広く診療している印象で、以前より勤務を希望しており、今回希望が叶い本院で勤務することができ非常に楽しみにしております。地域の小児医療に貢献し、自身も成長できるように頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



放射線科

こばやし なおき 小林 直樹

令和3年10月より放射線科医として赴任いたしました小林直樹と申します。熊本大学医学部卒後5年目になります。診療に従事する傍ら、来年に迫った専門医試験に向けて勉強をしつつ、今年度からは熊本大学大学院の社会人大学院生として研究活動にも精を出しております。

く機会を得ましたことは幸いであったと感じております。当院では急性腹症をはじめとして迅速かつ的確な画像診断が治療方針の決定に重要な役割を果たす症例が多く、また松川先生・矢村先生という指導者にも恵まれ、赴任して間もないにも関わらず多くの学びがあったと思います。画像診断医としてのやりがいと成長を実感するとともに、責任の大きさに身の引き締まる思いで日々を過ごしています。今後とも当院を受診される患者様、そして医師会の先生方をはじめとした関係者の皆様のご期待に応えられるように精進していきたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

「修行中の身」である私にとって、この度当院で働



社会福祉士

よしだ えりか 吉田絵里佳

令和3年10月に入職しました社会福祉士の吉田絵里佳です。皆様に温かく迎えていただき、毎日楽しく仕事をさせていただいております。

の国家資格も働きながら取得し現在に至ります。月日が経つのは早いもので、私が福祉の世界に身を置いて早くも20年の年月が経とうとしています。医療法も改正され、これまで以上に質の高い支援が求められるようになりました。MSWは院内では唯一の福祉専門職であり、医療だけでなく、社会福祉全般に関する知識、患者さん、家族への細やかな配慮、様々な状況に臨機応変に対応する柔軟性、多職種連携・協働が必要とされています。まだまだ不慣れな事も多く、皆様にはご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、急性期、回復期、慢性期病院すべてに勤務して参りました今までの経験を生かし、誠心誠意業務に励み、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

私が福祉の勉強を始めたのはアメリカに住んでいる時で、社会福祉の学位もアメリカの大学院で取得しました。医療ソーシャルワーカー（MSW）として就業したのは、日本に帰国後ですが、駆け出しのころは右も左もわからず、多くの失敗がありました。それでも、MSWの仕事が楽しくて、「社会福祉士」



リハビリテーション室

こがななこ 古閑菜々子

令和3年9月1日から勤務させて頂くことになりました、言語聴覚士の古閑菜々子と申します。出身は熊本市内で、幼い頃は熊本地域医療センターに、度々お世話になっておりました。当院で働かせて頂けることとなり、とても嬉しく感じております。

勤めておりました。そこでは入院患者様のリハビリに加えて、訪問リハビリや就学前のお子様の言語訓練を行って行っていました。訪問リハビリでは主に神経難病や呼吸器疾患の患者様を対象にリハビリをしていました。在宅の患者様と関わる中で、患者様の生活背景やニーズに合わせた支援が必要だと感じ、患者様とご家族様の意向や気持ちに寄り添えるように心がけていました。当院でも在宅復帰、在宅医療へ移行される患者様が多くいらっしゃる為、よりよいサポートができるよう精進していきたいと思っております。至らない点も多々あるとは思いますが、どうぞご指導の程、宜しくお願い致します。

以前は菊陽町の熊本セントラル病院に3年半の間、

昇任挨拶

リハビリテーション室 主任 佐藤 章浩 さとう あきひろ



平素より先生方にはお世話になっております。2021年7月末で退職された和田主任の後任として、10月よりリハビリテーション室主任を拝命いたしました言語聴覚士の佐藤章浩と申します。自身といたしましては、言語聴覚士として13年目(当院での勤務年数は6年目)となっており、世間一般では中堅と呼ばれる年代となってきました。(新人の頃にご指導頂いた諸先輩方のようになれているかはわかりませんが)

現在リハビリテーション室は理学療法士4名、作業療法士3名、言語聴覚士2名の計9名の体制となっております。コロナ禍の影響によりリハビリテーション室も感染予防を念頭に置いて業務を行っております。以前よりも業務に制限がある状態ですが、リハビリテーションの質を

落とすことが無いようスタッフ一同努力しております。

リハビリテーション室が開設されてから9年目となっております。部署としての地盤は固まってきました。コロナの影響や新電子カルテへの切り替え、病院建て替えなど病院としても大きな変化を迎えているこの時期に、リハビリテーション室としてどのような運営方法が患者様だけでなく、病院や先生方のメリットとなるか検討を行っているところです。そのため方針が決まりましたら、センターだよりで報告させて頂けたらと考えております。

最後に「かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。そんな病院をめざします。」の病院理念に基づき日々精進して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

12月の勉強会は開催いたしません。

次回は、2022年1月24日(月)開催予定となっております。

熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら
☎096-363-3311(代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら
※ベテラン看護師が対応いたします!
(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)
☎096-366-1323

編集後記

Y 友達の輪~Relayトーク第14弾は、当院OBの庄野信先生に思い出を書いていただきました。また、ほぼ毎週手術室を利用いただいている秋月美和先生には医師会病院手術室の利用について書いていただきました。ありがとうございました。

K 食べ盛りの子供達の好物は、定番の唐揚げです。しかし、1kg超えは、揚げる最中で油酔いする始末。さらに次男は、どうしても揚げたてが食べたらしく、「塾から帰るまで揚げるな。熱々を出せ!」と。息子よ、将来伴侶を持つ時は、口を慎むがよいと母は心でつぶやいた。

H 今年もあとひと月。あっという間に年末がやってきますね。今年もコロナ禍ということもあり、家でまったり過ごす予定です。みなさんは年末の予定決まりましたか? ?